

小学生異文化体験学習を実施しました。



英語の授業の様子



豪華な調度品に興味津々



広い館内を散策



スヌーカーを体験する児童たち



スコーン作りに取り組む児童たち



質問に精一杯の英語で答える



テーブルマナーを学ぶランチ



英語を用いたゲーム



修了証書を受け取る児童

6月9日(金)一小の原田知幸校長を派遣団長として、一小、二小の6年生と引率合わせて66名が、天栄村のブリティッシュ・ヒルズを訪れました。

この事業の目的は、自然豊かな環境で、子どもたちがリラックスするとともに、ブリティッシュ・ヒルズ(イギリス文化環境研修施設)における、生きた異文化体験活動を通して、グローバル化する国際感覚を身につけることです。

出発の前日に準備学習会が一小で開かれ、団長から「当日は積極的に楽しく取り組みよう」と挨拶があり、児童は、「一小、二小の仲間が助け合いながら活動する」「自信をもって積極的に行動する」など目標を確認し合いました。

当日、施設に到着すると外国人講師が児童を出迎え、活動がスタートしました。初めにオリエンテーションを受けた後、講師の案内でグループ毎に館内を見学しました。イギリス貴族の暮らしを感じさせる建物や

館内の調度品などを目の前に文化の違いを感じ、遠い異国の雰囲気を感じました。

その後、講師による英会話のレッスンがあり、日常の会話や楽しいゲーム等の活動を通してクラスの仲間と英語で質問し合うなど、英語を話すことへの意欲を高めました。

また、イギリスの伝統的なお菓子であるスコーンを作るレッスンでは、英語での説明を聞きながら、みんなで協力して美味しいスコーンを作ることができました。

昼食は、英国式のレストランでテーブルマナーを意識しながら、洋食をおいしくいただきました。

最後に、終了のセレモニーが開かれ、一人ひとりに修了証書が手渡されると、児童は、「Thank you!」と大きな声でお互いに感謝の言葉をかけ合いました。思いやり英語に触れた一日でしたが、疲れた様子も見せず笑顔で体験学習を終えました。